

新建築あいち

2022. 9月号

新建築愛知支部事務局：株式会社 宮工務店 気付
ホームページ(2022年4月～)URL <http://nu-ae.com>

〒486-0904 春日井市宮町 1-11-25
TEL:0568-34-7775 FAX:0568-34-7797

新建築家技術者集団 愛知支部企画

錦二丁目 新会所・路地 七番 (ななばん) 見学会

日時：2022年8月27日(土)
10:00～13:00

※参加締切り 8/26 (定員になり次第締切)



▲広場と喫茶

- 場所：錦二丁目 七番 2階 スペース1 (キッチン付き)
(名古屋市中区錦2丁目7番7号・地下鉄伏見駅1番出口・徒歩5分程)
- 内容：今年6月11日にオープンされた錦二丁目の新会所・路地の見学会です。
新高層マンションの1.2階の一部を、錦二丁目エリアマネジメント(株)にて管理・運営されています。代表の名畑恵さんの案内で見学します。会所・路地としてのオリマチ広場、喫茶店、延藤文庫の絵本のあるラウンジ、貸しスペース、飲食・洋服・ネイルアート店などの見所があります。キッチンのあるラウンジにてコーヒーや軽食と共に交流、情報交換しましょう。



名畑恵 (なばためぐみ) さん

NPO 法人まちの縁側育み隊 代表理事
錦二丁目エリアマネジメント(株) 代表取締役

■スケジュール

- 10:00～ 七番の見学 (名畑さんに案内いただく)
- 11:00～ 七番のこと・人をあつめる方法 (意見交換)
- 12:00～13:00 昼食：1階の喫茶七番にてテイクアウト
- 13:00～ 解散 各自で錦二丁目まちあるき

■参加費：1,500円 ■定員：15名程度

※昼食代別途

■配布資料：建まち誌記事、七番リーフレットなど

■申込：090-4270-5197 kuronoakihiro@yahoo.co.jp 黒野



▲会所・路地 配置図

■ 「生活資本と店舗」 ～居住福祉と生活資本の構築(144)

岡本 祥浩

「大切な店 今はもうない…」(2022年7月10日「朝日新聞」)という記事がある。「閉店してしまったお気に入りのお店は？」という問いかけに対するウェブ、メール、はがきなどで寄せられた225件の回答を元にした記事である。この回答の中には、引きこもり中や介護中など、自分が苦しい時期に支えになったというエピソードが多くあったと言う。こうしたエピソードは、店舗がそれぞれの方の生活を支えた結果を示しているように思う。今回はこの記事为例に生活資本の一端を考えたい。

人生には、就学、進学、就職、結婚、職場の異動、看取りなどの様々な移行期がある。その際にそれぞれの方の生活資本は脆弱になり、その時期の支え方が居住に維持に大事な時期となる。この記事はまさに人生の移行期にお店が生活資本の維持に果たした役割を当事者の目線から紹介している。事例の一部を紹介する。

- ・お子さまセットから大人サイズになった時、和風ラーメン屋からお祝いを受けた。大学に合格した時にあいさつに行った。
- ・大学卒業後、24歳の頃に就職も進路も決まらず外出に引け目を感じ、友人の電話にも出られなかった。母の勧めで古本屋に行った。そこで憧れていたギリシャの文化や哲学に関する本を読み漁った。視聴覚障がい者の歩行訓練士を目指したが、心身の疲れでやめた。そうした時、古本屋の店員は、「はい、いらっしゃい」と言うだけで程よい距離感が心地良かった。31歳で土産物屋のパートに勤め、仕事帰りに古本屋に寄るのが支えになった。土産物屋に勤めて17年。古本屋と出会って24年。この出会いがなければ、自分は潰れていた。本に救われたと思っていたが、売ってくれる店があってこそだ。古本は自分の先生、古本屋は自分の学校だった。
- ・22歳から28歳まで近所のクリーニング屋に毎週土曜日にスーツを出していた。残業で疲れた顔色を見て、年配の女性店主は「仕事、忙しいの？」と気づかってくれた。シミ抜きの裏技も惜しげもなく教えてくれた。
- ・新婚時代、近所に友人のいない妻は、近所の商店街の小鳥屋でカナリヤを買い、寂しさを紛らわした。
- ・父が亡くなる一年半前のことだった。吐き気がひどく、食事を受け付けなくなった時、「あそこの寿司ならたべられるかもしれない」と漏らした。寿司屋の大將に事情を話し、週四日、二貫つつ売ってもらった。最初は大好きなマグロの刺身を一口。次はしゃりも一緒に一貫。次は一貫と半分。亡くなる三日前まで食べ続けた。

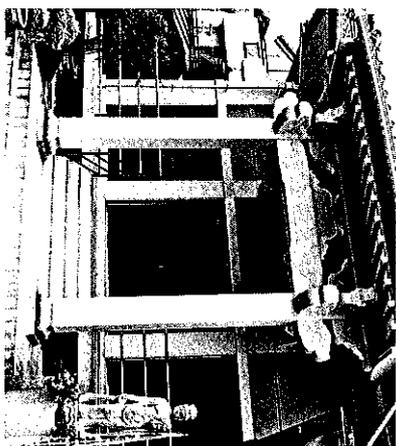
これらの事例は、多様なライフステージの移行期を支えた様子を示している。その時その時は当たり前のように思えた出来事も振り返れば、その出来事がなければ人生を続けられなかったり歩み始められなかったりしたであろうと思われる。それほど貴重な出来事だった。それを支えた店舗や店員や店主の果たした役割は大きい。人生や生活を支え、生活資本を構築した店舗やそれに関わる人々の役割の大きさをあらためて確認しておきたい。こうした店舗はいずれも消滅したわけであるが、生活環境の再編に際し新たな形で生活資本を再構築できる仕掛けが組み込まれることを期待したい。

(中京大学教授、日本居住福祉学会会長、新建会員)

歴史探訪シリーズ ⑨ 南区

新藤半兵衛と切られ地蔵

南区は古くから、鎌倉街道、東海道などの街道があり、この他にも塩の道、知多街道などがあって交通の要所ともいえる所となっています。このために多くの歴史や、伝説なども生まれています。この「切られ地蔵」の語もその一つです。

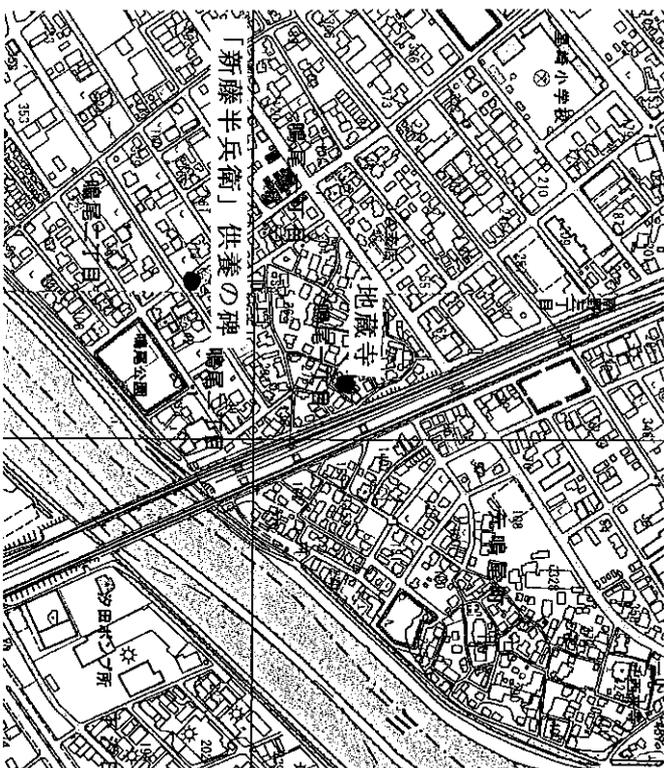


地蔵寺



新藤半兵衛碑

南区鳴尾1丁目に地蔵寺と呼ばれる寺があります。この寺には上半・下半の2つにわかれた地蔵が安置されています。この寺の縁起によれば、元和元年(1615)に大阪城落城の際の落武者「新藤半兵衛」がこの地を通った時に、海辺の辻に立っていた石地蔵の靈験を試そうと、家来に持たせた槍でこの地蔵を突



いたところ、この地蔵は2つに割れてしまいました。この後「半兵衛」はこの地から200m南の草むらに倒れ、血をはいて命をなくしてしまっただいこうです。これを知った里人は地蔵の靈験を恐れ、草堂をたて、壊れた地蔵を安置し里人の手で守り続けてきました。この堂が今の地蔵寺です。半兵衛の倒れた所は「血塚畑」と呼ばれ供養の碑が建てられています。

■ 新建愛知支部 2022年7月 支部幹事会だより

7月19日(火) 19:00~21:00(オンライン)

リモート参加者/入谷、奥野、川合、黒野、中森、福田、壬生、甫立

- (1) 茨城セミナーを9月11日(日)~12日(月)で開催予定です。申し込みは、新建HPから。
- (2) 中部ブロック会議を8月20日(土)夜7時から予定をして、金沢セミナー等を話し合います。
- (3) 中部ブロックセミナーを10月22日(土)~24日(月)に石川県の休暇村能登千里浜にて行います。
- (4) 職人不足で困らない為に、共同事業化の組織検討を進める事を決めて、源樹会と連携をします。
- (5) 新建に協力してくれる施工者、職人、各種の営業さん等に声を掛けて、リスト化しています。
- (6) 「防災マニュアル」連絡網を利用して、支部企画、拡大と更に積極的に声掛けをしています。
- (7) 「建まち誌」への50周年祝賀広告を募集しています。支部でまとめて、本部へ連絡をします。

今後の幹事会は、8月23日(火)、9月20日(火)、10月11日(火)午後7時と決めました。

■ 中部ブロックセミナーの案内 in 能登千里浜 10月22日(土)~24日(日) 案内

場所：休暇村 能登千里浜(のと ちりはま) 石川県羽咋市(はくいし) 羽咋町オ70

連絡：電話0767-22-4121 FAX0767-22-4314

※詳しくは、『休暇村 能登千里浜』のホームページをご覧ください。企画委員会だよりも同封。

全体のスケジュールの予定です。

- ・10月22日(土) 現地までの移動、テントの設営
ホテル施設で昼食
第1講座(仮) バランダ発電などの家族で楽しめるワークショップ
講師：佐藤 博士氏(NPO 法人 太陽光発電所ネットワーク理事)
ホテル施設にて夕食
夜は、外で懇親会(キャンプファイヤーなど)
施設には、温泉や天体望遠鏡、卓球台もあります
就寝は、テントやホテルにて
- ・10月23日(日) ホテル施設で朝食
第2講座(仮) 観光とまちづくりについて
講師：丸谷 耕太氏(金沢大学准教授 観光学・まちづくり)
ホテル施設で昼食
第3講座(仮) 21世紀建築空間
講師：小林 良雄氏(新建東京支部)
ホテル施設にて夕食
- ・10月24日(月) ホテル施設で朝食
金沢市にあるカントリーベース(建材工場)の見学
DIY・個性的なインテリアに興味のある方は、必見です
各自、自由解散とします

■ 愛知支部事務局・財政からのお願い

新建会費『2022年後期分』の請求書をメールまたは郵便でお送りします。

2022年前期分が未納の方には、2022年後期分に合わせて請求させて頂いています。

※ 振込手数料は、各自でご負担をお願いします。 ご協力を宜しくお願い致します。